

農業政策研修会を開催

— 農業者の所得増大に向け農業政策の有効活用を —

2月13日(水)にJAの営農農政担当者を対象に農業政策研修会を開催し、9JA42名が参加しました。

この研修会は、日EU・EPAやTPP11の合意など国際貿易交渉の進展や30年産から米政策の見直しなど、農政課題が山積している中、農政をめぐる情勢や当面の関連政策について研修し、営農農政担当者の資質向上を図ることを目的に開催しました。

研修内容は、「国際貿易交渉をめぐる情勢」では、TPP11最終合意の内容、「30年産からの米政策の見直しの概要」では、生産現場での課題やJAグループとしての基本的考え方等について説明しました。また、「平成29年度補正予算および平成30年度当初予算の概要」では、予算決定までのプロセスや、平成30年度当初予算では、昨年度の当初予算額を50億円下回る2兆3021億円が計上されたこと、収入保険制度の実施やGAP拡大の推進等が新規項目として追加されたこと等を説明しました。



【TPP11 (CPTPP) を説明する様子】



【熱心に聴講する研修生】

この研修を契機として、当面の農政課題について理解を深め、生産現場で農業政策を有効に活用して、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に役立てるよう期待いたします。

JA農産物直売所の運営強化に向けて

－JA農産物直売所担当者検討会を開催！－

2月16日（金）、JA農産物直売所担当者検討会を開催し、県内JA直売所店長や担当者など27名が参加しました。

JAの取組事例発表として、JA足利 営農振興課 古郡典明 係長が「JA足利移動販売車あんあん ぐるりん号」について発表しました。「あんあん ぐるりん号」は、中山間地域住民の買物支援と地域コミュニティ活性化等の地域貢献も兼ねており、古郡係長は「当初、申込件数が少なかったが、運行しているうちに口コミで拡がり、利用者が増加している。訪問宅の住民が隣近所を誘って買いに来るなど地域交流の活性化にも繋がっている。」と話しました。



【事例発表するJA足利 古郡係長】

また、JA農産物直売所における「安全・安心」の取り組み強化を図るため、中央会から、農林水産省が策定した衛生管理指針を説明しました。特に出荷者への留意事項として、完熟堆肥の適正使用や手洗いの励行を呼びかけました。

あわせて、今年度の中央会の直売所運営支援を踏まえて、次年度の取り組みに関する意見交換も行いました。JA担当者からは、「県内統一キャンペーン開催時期は、出荷物が豊富な時期に行うべき」という意見や、「POPコンテストの審査方法に現地審査を取り入れてみてはどうか」など様々な意見があり、有意義な検討会となりました。



【検討会の様子】

なお、中央会では、他JA(店舗)の優良な取り組み事例を学び、情報共有を通じて関係者の資質向上や意識高揚を図るため、県内・県外のJA農産物直売所の優良事例を紹介した「魅力増す!JA農産物直売所を目指して—優良実践事例集—」を作成しました。



【優良実践事例集は全109ページ!】



【悪い例・良い例を写真や解説を交えて分かりやすく紹介している】

検討会で事例集の内容を説明し、日々の直売所運営の改善の手引きとしてはもちろん、スタッフ研修会や出荷者研修会での活用を呼びかけました。

中央会では、今後も直売所事業の運営支援の取り組み強化を図ります。

3つのC (① **C**hange (変革) ・ ② **C**hallenge (挑戦) ・ ③ **C**reate (創造)) で販売品取扱高目標の達成!

集落営農法人組織交流会を開催

—組織の円滑な運営・人材育成のために—

本県の法人化されている集落営農組織を対象として、2月14日（水）に集落営農法人組織交流会を栃木県担い手育成総合支援協議会との共催で開催しました。

交流会には、県内の14法人の代表者・役員等と関係機関の担当者ら45名が参加し、組織を運営していくため「作業の管理、後継者・人材育成、法人間連携」など法人が抱えている課題・解決策について意見交換を行いました。

初めに、組織の役員や後継者人材育成、法人組織の運営などに関する事前アンケート調査の結果報告を行いました。

ほとんどの組織で高齢化が進んでおり、併せて後継者問題も抱えている一方で、代表が構成員の中で一番若い組織もあり、順調に世代交代が進んでいる組織もあることがわかりました。また、高齢化が進んでいるため、どの組織も省力化技術に興味を持っており、積極的に導入をしている組織もありました。



【あいさつする廣澤センター長】

意見交換の中では、法人組織の運営において重要な作業管理についても話題が出され、すでに農業ICTを活用した作業日誌・作業内容の管理を行うシステムを導入している組織もありました。

参加者からは、現在の取り組み状況や今後の取り組みなどについて活発な意見・質問が出され有意義な交流会となりました。



【活発に意見を出し合う法人の代表者達】

今後もこのような交流会を開催し、県内の法人組織の連携をはかりながら、担い手が抱えている問題を解決するための一助になるよう支援していきます。

担い手支援セミナーを開催 —挑戦 土地利用型農業の新たな展開へ!—

担い手サポートセンターでは、担い手支援セミナーを開催し、生産者・JA・県関係機関等、約190名の参加がありました。

今回は、「挑戦 土地利用型農業の新たな展開へ」と題し、省力低コスト技術の導入や農業ICTの活用、水田フル活用による露地野菜の振興をテーマに農業機械の展示や研修を行いました。



【直進アシスト田植機の実演】



【講演する高橋賢一代表】

基調講演では、新潟県で複合経営を行う「株式会社ふるさと未来」の高橋代表より「経営の複合化及び後継者確保と承継に向けた取り組み」と題して報告をいただきました。高橋代表は、水稲単作経営から脱却して周年雇用による後継者育成を目指し、ハウス園芸（トマトやアスパラ）と、水田に園芸作物（枝豆とブロッコリーの二毛作）を導入した取り組み等を紹介しました。園芸作物の導入により、経営が安定し、現在では正社員5名を雇用しています。

全体を通し、生産者からは、30年産からの米政策見直しに対する不安な思いや、農作物の生産拡大が所得増大に確実につながるようJAグループの対応について強く要望されました。

担い手サポートセンターは、これらの意見を踏まえて、これまで以上に担い手対応の強化を進めてまいります。



【米政策に意見する担い手の皆さん】

JR東京駅でエキナカマルシェ販売を実施

－栃木の旬のいちごを販売－



JAグループ栃木は、2月21日(水)～23日(金)の3日間、栃木県農産物の販売促進やPRを目的に、JR東京駅丸の内地下動輪の広場にて「地元特産品エキナカマルシェ」と題し、栃木県産のいちご(とちおとめ、スカイベリー)の販売を行いました。今回の取り組みは、栃木県が実施している「いちご王国栃木」プロモーションや4月から始まるJRグループの大型観光企画「デスティネーションキャンペーン」に呼応したものです。

初日の21日(水)には、JA栃木中央会高橋会長をはじめとして、栃木県農政部鈴木次長らが参加し、オープニングセレモニーを行いました。開会に先立ち高橋会長は、「イベントを通じて、多くの方々に栃木県産農産物への愛着をもってもらおう好機としたい。」とあいさつ、その後テープカットを行いました。

セレモニーのあとはいちごの販売を実施しました。今回のイベントでは、県内10JA全ての産地のいちごを揃えたのが特徴です。初日の21日が県中地区、2日目が県南地区、最終日には県北地区のJAのいちごを用意し、3日間とちおとめ1,840パック、スカイベリー840パックを販売しました。法被姿の職員らが試食を呼び掛けながら販売すると、大勢の通行人らが大粒のいちごを買い求めていました。また、お客さまの間からは、「真っ赤で粒が大きく、おいしそうだね。」といった声が聞かれました。

なお、本取り組みは、4月にも3日間の日程で実施が予定されています。



【オープニングセレモニーの様子】



【いちごの販売風景】

第59回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会に特別協賛

－JAグループ一体的広報の実践－

中央会・連合会は、JAグループ栃木の一体的広報として、1月28日(日)に開催された第59回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会に特別協賛しました。

今回の駅伝大会では、広報活動とおもてなし等の地域貢献活動に取り組み、中央会、農林中金宇都宮支店、全農とちぎ、共済連栃木の役職員約50人が参加しました。

広報活動については、「JAグループ栃木」ロゴによる横断幕・手旗・選手ナンバーカード(ゼッケン)等によるPR、下野新聞特集紙面による広報、テレビ・ラジオ放送、「JAグループ栃木統一のぼり旗」の掲出、みんなのよい食プロジェクトのマスクやJA事業のパンフレットの配布等、多彩な取り組みを行いました。

地域貢献活動(おもてなし)として、県庁前広場では、来場者及び選手・大会関係者等に、特選3銘柄(県産「コシヒカリ」、「なすひかり」、「とちぎの星」)の精米300g(3種類から1つ)、とちぎ和牛の焼肉(300人分)、「コシヒカリ」のおにぎり(800個)、豚汁(500人分)を無料で配布しました。



【来場者に精米を配布】



【おにぎりを受け取る来場者】

また、栃木市運動公園でも「コシヒカリ」のおにぎり(800個)を無料で配布したほか、ボランティアで小学生駅伝競走大会の走路誘導を行いました。さらにアトラクションとして共済連が安全運転自転車シミュレーターによる運転体験や介助犬デモンストレーションを行い多くの来場者が体験しました。4か所の中継所でもPR資材を配布しました。

なお、郡市町対抗駅伝、小学生駅伝ともに出場選手全員に特選3銘柄精米3点セットをプレゼントしました。県庁前広場での配布等は、来場者、選手・大会関係者から大変喜ばれました。

今後も中央会・連合会は、さまざまイベント等を通じて地域住民に対してJAグループ栃木のイメージアップを図っていきます。

平成29年度営農指導員資格認証(2級試験)の結果

平成29年度栃木県農業協同組合営農指導員資格認証の2級試験を1月26・29日に実施し、86名が受験しました。

その結果、下記の50名が合格し、中央会会長から認証されました。

＜平成29年度営農指導員資格認証2級認証者（50名）＞

認証番号	所属 JA	氏 名	認証番号	所属 JA	氏 名
1037	うつのみや	田 仲 健太郎	1062	お や ま	秋 山 浩 亮
1038	うつのみや	稲 見 健 二	1063	お や ま	森 健 太
1039	うつのみや	若 色 寛 文	1064	お や ま	久 保 力 也
1040	うつのみや	佐 藤 隆 史	1065	お や ま	柴 山 直 人
1041	うつのみや	大 木 貴 広	1066	佐 野	関 哲 夫
1042	うつのみや	鶴 見 忠 治	1067	佐 野	久 保 秀 子
1043	うつのみや	長 棹 旦 氣	1068	足 利	中 田 富 幸
1044	うつのみや	野 沢 龍之介	1069	足 利	島 野 純 弥
1045	うつのみや	荒 井 康 平	1070	しおのや	見 目 英 昭
1046	かみつが	大 門 宗 由	1071	しおのや	阿久津 裕 一
1047	かみつが	小野崎 伸 堯	1072	しおのや	津久井 良 彦
1048	かみつが	我 妻 陽 介	1073	しおのや	阿 部 昂 平
1049	は が 野	木 下 淳	1074	しおのや	山 本 祥 大
1050	は が 野	森 本 一 輝	1075	しおのや	久保井 勲
1051	は が 野	恩 田 絵梨子	1076	しおのや	君 島 悠 紀
1052	は が 野	関 彩 那	1077	しおのや	田 代 裕 也
1053	は が 野	小 坂 孝 行	1078	しおのや	諏 合 正 則
1054	は が 野	塩 田 剛	1079	しおのや	相 田 明 志
1055	は が 野	谷 口 健 太	1080	しおのや	松 浦 昂 平
1056	は が 野	古 木 茉莉奈	1081	な す の	室 越 大 樹
1057	は が 野	仁 平 貴 文	1082	な す の	伊 藤 貴 志
1058	しもつけ	増 田 和 博	1083	な す の	伊 藤 孝 大
1059	しもつけ	篠 原 朝 陽	1084	な す の	菌 部 尚 紀
1060	しもつけ	堀 尾 健太郎	1085	な す の	伊 藤 達 志
1061	お や ま	高 田 賢 史	1086	な す 南	岡 裕 之

教育センターレポート

—新入職員3年目フォロー研修会を開催—

新入職員3年目フォロー研修会を1月16日(火)、18日(木)、31日(水)の3班で開催し、13組織122名が受講しました。

この研修会は、入組3年目の職員を対象に、1人前の実務のプロを本格的に目指すにあたり、そのもととなる基本動作(職場での基本動作)を習得することを目的にしています。

研修では、①組織・協同組合の理解、②着実な仕事の進め方(マネジメント・サイクル)、③仕事の改善、④コミュニケーション、⑤組合員および外部対応、⑥実務のプロを目指す(継続的な自己啓発)について、事例研究のグループ討議を中心に学びました。

受講者からは「自分の仕事ぶりを見つめ直すことができた」「具体的な事例、身近な事例が多く分かりやすかった」「他JAの意見を聞くことができ刺激になった」などの感想が聞かれました。

今回の研修で学んだことを生かして、さらなる成長、飛躍を期待します。



【グループ討議を行う受講生】

—新入職員地区別交流会を開催—

新入職員地区別交流会を2月6日(火)にJA佐野総合施設内研修センター(県南地区)、8日(金)にJAなす南本店(県北地区)、14日(水)にJAはが野真岡支店(県中地区)の3会場で開催し、9JA102名が受講しました。

この交流会は、JA間の交流をはかるとともに、組合員とのコミュニケーション等について学び、2年目に向けて意欲的に仕事に取り組む姿勢を養うことを目的にしています。

交流会では、①我がJAの自慢、②組合員訪問、③2年目に向けた目標設定を行いました。「我がJAの自慢」では、JA毎に自分のJAの特徴や自慢できることについて発表しました。また、「組合員訪問」ではワールドカフェ(グループメンバーを入れ替えての討議)により「組合員との思い出」をテーマに受講生の間で意見交換を行いました。その後、JA職員が組合員宅を訪問するという場面設定でグループ毎にロールプレイングを行い、組合員とのコミュニケーションについて学びました。

受講者からは「たくさんのお他JA職員と交流や情報交換ができた」「ロールプレイングで学んだ組合員への対応を実践したい」などの感想が聞かれました。

今回の交流会で学んだことを生かして、2年目に向けてさらなる飛躍を期待します。



【「我がJAの自慢」(県南地区)】



【ロールプレイングの様子(県北地区)】



【ワールドカフェの様子(県中地区)】

－新任理事・監事フォロー研修会を開催－

新任理事・監事フォロー研修会を2月9日（金）に開催し、改選のあった4JAの新任理事・監事37名が参加しました。

午前中はグループに分かれて、「JAの自己改革の取り組み」をテーマに、①各JAの進捗状況（進んでいる点、進んでいない点）②今後どのような取り組みが必要か等についてグループおよび全体討議を行いました。

主に「担い手訪問等を行っているが、出された意見や要望はスピード感を持って事業活動に反映しなければならない」「JAはPRが不足している。もっと積極的に行っていることを広報すべき。」といった意見が出されました。

午後は、「栃木県農業振興の課題と展望」と題し、宇都宮大学農学部教授の秋山 満氏の講演を聞きました。

参加者からは、午前のグループ討議について「各JAの自己改革の取り組み内容を聞くことができよかった」「こうした意見交換は有意義だった」、午後の講演について「今後の栃木県の農業振興の方向性を聞くことができ勇気付けられた」などの意見が聞かれました。

今回の研修で学んだことを今後の理事・監事の活動に生かされることを期待いたします。



【講演する秋山教授】

－第9回JA中核人材育成研修会の論文発表会・修了式を実施－

1月25日(木)に第9回JA中核人材育成研修会の論文発表会及び修了式を行い、研修生およびJAの役職員ら約50名が参加しました。

この研修会は、JAの将来を担う幹部職員を育成することを目的に、5月～10月はJAの理念や経営学を中心に、11月～1月は内部監査士の取得に向けた学習を延べ34日間行いました。研修の総括として、自JAの組織・事業運営上の課題解決に向けた改革や、組合員・利用者に対する新たなサービスの提案を行う修了論文を作成しました。

論文発表会では、研修生は論文の論旨について1人7分でプレゼンテーションを行いました。修了式では、研修生18名に全中会長名の修了証書が渡されるとともに、以下の5名が表彰を受けました。最優秀賞に選ばれたJAはが野の菅野雅史さんは、2月22日(木)に東京都で開催された全国発表会に本県代表として参加しました。

今回、研修生が論文に書いた提案が各JAで実践され、JAの自己改革に生かされることを期待します。

最優秀賞	JAはが野	菅野雅史氏
優秀賞	JAしもつけ JA足利	熊倉大輔氏 岸野正和氏
奨励賞	JAうつのみや JA佐野	手塚仁氏 山崎悠輔氏



【表彰を受ける最優秀賞の菅野さん】

J A教育センター主催の3月・4月の研修会等の開催予定は下記のとおりです。

日 程	研 修 会 名	対 象 者
3月8日	農協監査士養成研修会(水)	30年度農協監査士試験 受験予定者
3月15日	農協監査士養成研修会(木)	30年度農協監査士試験 受験予定者
4月9日～13日	新入職員業務基礎研修会	新入職員
4月16日	農協監査士養成研修会(金)	30年度農協監査士試験 受験予定者
4月17日	支所・支店長研修会(第1班)	新任の支所・支店長
4月24日	労務管理基礎研修会	新任管理者および次期管理者
4月25日	新任考課者研修会 前期(第1班)	新任考課者
4月26日	2019年度JAグループ 栃木職員統一採用試験(短大・大卒1期)	平成31年3月短大・大学卒業見込者または卒業者
4月27日	新任考課者研修会 前期(第2班)	新任考課者

※受講申込は、J A栃木教育センターまで。

(TEL : 028-616-8560 FAX : 028-616-8594 E-mail : kyouiku@tcchu-ja.or.jp)



消費者へ農業理解促進の一環として、下野新聞に毎月1回「ふおーyou とちぎJAプラザ」を掲載しています。

ここで、アンケートを実施し、紙面に対する感想が寄せられていますので、一部ご紹介します。今後の事業取り組みの参考にして下さい。

～12月18日掲載 テーマ 「JAはが野のイチゴ」特集～

【イチゴについて】

- ・日本一のイチゴを身近に食べられることを幸せに思います。毎年北海道や新潟に送って喜ばれています。若い人が頑張っている事や、取れたてが一番という記事を読み納得しました。
- ・イチゴ栽培日本一、特に芳賀地区は盛んですね。栃木県は全国に誇る農産物生産県ですので、JAグループ栃木は、強固な全国に誇れる組織になってほしいです。
- ・年間を通し育苗・定植・温度管理など大変な作業があり、店頭に並ぶまでは気が抜けないものですね。とちおとめ・スカイベリーは自信を持って友人・親戚に贈答しています。
- ・JAはが野のイチゴはとても甘くて栄養面でも抜群です。しかしそれ以上に優れたものを作ろうとしている努力がとてもすばらしいと思いました。

【JAの取り組みについて】

- ・JAしおのやの「組合員の学習室」に興味を持ちました。私も息子や知り合いに農業の良いところを良く話しています。若い人が、いろいろな農業に興味を持ち、米や野菜などを作って町が活性化していったら良いと思いました。
- ・JAしおのや計画の新規就農者育成研修を経て、若者が就農し始めているのは極めて明るいですね。この事業をぜひ継続して下さい。
- ・毎月18日「三食ごはん」の日、お米を三食食べようというのは良い取り組みですね。
- ・生産者が高齢になり若者が後を継がないと良く耳にしますが、この紙面では若い人たちが頑張っている姿に大変うれしくなりました。
- ・生産者の笑顔がいいですね。生産者側の話が読めて頭の下がる思いです。JAしおのやの手塚さんの話はこれから農業を始める若い人たちにも関心がわく内容でした。これからも農業への取り組みを楽しく読みたいと思います。

理事会だより

平成30年2月9日(金)に第12回理事会が開催されました。

(協議事項)

(1) 第67回臨時総会の開催について

平成30年3月30日に臨時総会を開催し、提出する議案が承認されました。

(2) 平成31度中央会職員募集要領について

平成31年度の採用に関する事項が承認されました。

(3) 電算センターLAN機器(ファイアウォール)の更新について

LAN機器(ファイアウォール)の更新内容が承認されました。

(4) 資産査定システム及び農業簿記記帳代行システムの稼働基盤(サーバー)更新について

稼働基盤(サーバー)の更新内容が承認されました。

(5) 自家用発電機のD点検及びコントローラーの更新について

D点検の実施及びコントローラーの更新内容が承認されました。

(6) 栃木県JAバンク支援制度規程第8条に基づく積立金の平成30年度積立について

平成30年度JA別積立額が承認されました。

(報告事項)

(1) JAグループ栃木担い手サポートセンターの取り組み状況について

(2) 30年産からの米政策見直しに関する対応について

(3) 「魅力増すJA農産物直売所を目指して～優良実践事例集～」の作成について

(4) 平成30年開催通常総代会提出議案について

(5) 平成29年度決算処理スケジュール(例)について

(6) 平成29年度農協職員資格認証試験結果(特級)について

(7) JAグループ栃木大規模災害(BCP)統一訓練実施結果について

(8) 下野新聞JAプラザふぉーyou読者アンケート結果について

(9) 当面のJA自己改革の取組みについて

(10) JAグループのサイバーセキュリティ対応強化について

平成30年3月主要行事予定表

	総務企画部	担い手サポートセンター	農業くらし推進部		経営指導部	電算企画運用部	電算開発部	全国監査機構 栃木県監査部
			農業ライン	くらしライン				
1 木	下野新聞社主催企業説明会		市町再生協議会意見交換会(南郡)					期末監査(現金収支・棚卸立会)
2 金	経営会議							
3 土								
4 日								
5 月			食と農を考えるフォーラム			2月月次処理		常勤監事会議
6 火	世話係制度検討会	青年部ポリシューブックにかか る県選役員との意見交換会	市町再生協議会意見交換会(南北)	女性会 三役会議				
7 水	農林年金制度完了対策協議会	TACアグリビジネススクール⑩	市町再生協議会意見交換会(山中)		監査士養成研修会④			
8 木				くらしの活動研修会				
9 金				日本農業賞全国表彰式	年度末手当報告①			
10 土								
11 日			CAP推進・30年度米政策の推進					
12 月	理事会 監事会 全中功労者表彰受賞祝賀会	土地利用型農業技術講習会			J A 巡 回			
13 火	JAグループ合同就職説明会			女性社会役員・事務局合同会議				うつのみや・しよぼつけ・佐野 期末監査
14 水	企画会議・臨時管理職会議 総務調整会議	栃木県農業安全推進研修会 担い手協議会事務局員等打合せ						かみつが・足利 期末監査
15 木								
16 金	内示				年度末手当報告②			
17 土								
18 日								
19 月								かみつが・足利 期末監査 はが野・しおのや・なすの 期末監査
20 火								おやまなす 南期末監査
21 水								
22 木	管理職会議				税務申告相談会			はが野・しおのや・なすの 期末監査 おやまなす 南期末監査
23 金					年度末手当報告③			
24 土								
25 日								
26 月								
27 火	企画会議・コアラ委員会						購買オへ研①	
28 水								
29 木								
30 金	臨時総会						貸出オへ研①	
31 土								

平成30年4月主要行事予定表

日	総務企画部	担い手サポートセンター	農業くらし推進部		経営指導部		電算企画運用部	電算開発部	全国監査機構 栃木県監査部
			農業ライン	くらしライン	経営ライン	教育ライン			
1 日									
2 月	経営会議 臨時企画会議								うつのみや・しもつけ期末監査II 佐野期末監査II
3 火									
4 水									しおのや期末監査II
5 木	新人研修	県指導員連盟委員会・監事会						貯金オペ研① 青果物オペ研①	足利期末監査II
6 金				JJA栃木女性生食監査会・役員会					
7 土									
8 日									
9 月									足利期末監査II かみづがなす南期末監査II
10 火	監事会・理事会								
11 水									
12 木									なすの期末監査II
13 金	総務調整会議								はが野・おやま期末監査II
14 土									
15 日									
16 月									
17 火									はが野・おやま期末監査II なすの期末監査II
18 水									
19 木									
20 金	管理職会議								
21 土									
22 日									
23 月									
24 火	下期監事監査								
25 水	下期監事監査								
26 木	企画会議 農政懇談会								貯金オペ研③ 麦オペ研② 貸出オペ研② 共済オペ研①
27 金									共済オペ研② 期末監査審査会
28 土									
29 日									
30 月									

第42回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール

作文の部 金賞受賞作品

「おばあちゃんのしおむすび」

那須烏山市立烏山小学校 2年 石田 綾乃 さん

わたしは、ごはんが大好きです。まっ白でほかほかのごはんをつくった、おにぎりはもっと好きです。おかあさんは、サケとわかめをまぜたり、ケチャップと玉子をまぜたりして、おにぎりをつくってくれます。おにぎりの中みもいろいろです。うめぼしだったり、たらこだったり、とりのからあげが入っていることもあります。わたしが一ばん好きなのは、ツナマヨネーズです。今日のおにぎりの中みはなにか、そうぞうしながらたべるのは、いつもわくわくします。

自分でおにぎりをつくってたべるのも好きです。ごはんをラップの上に乗せて、すきなぐを入れて、おだんごのようにまるくにぎって、のりをまけばかんせいです。自分でつくると、ますますおいしくて、なんこでもパクパクたべられます。

でも、今までで一ばんおいしかったのは、ツナマヨネーズではなく、おばあちゃんがつくってくれた、「しおむすび」です。わたしがまだようち園生だったころ、おなかがすいたわたしに、おばあちゃんがはじめてつくってくれました。まっ白い小さなおにぎりで、たべてみるとちよっぴりしょっぱくて、しおとごはんだけなのに、とてもおいしくて、わたしはたくさんおかわりしました。おばあちゃんはみそおにぎりや、やきおにぎりもとくいで、中になにも入っていないのに、どれもとてもおいしくて大好きです。

「あい、が入っているからね。」

とおばあちゃんはわらいます。

二年前まで、わたしのおじいちゃんとおばあちゃんは、田んぼでおこめをつくっていました。

わたしも、しょうらい自分のこどもやまごたちに、「あいじょう」たっぷりのおにぎりを、たくさんつくってあげたいです。